



日本学術会議シンポジウム

阪神淡路大震災30年

— その後の日本社会をいかに変えたか —

日時：2025年1月15日（水曜日）13:00～18:00

場所：日本学術会議講堂（ハイブリッド）

参加費：無料

オンライン参加申込みフォーム <https://forms.gle/WtfBRuzsXmBpNuDf7>

（締切：2025年1月10日正午）



主催：日本学術会議 地球・人間圏分科会

後援：日本活断層学会・日本地理学会・日本地震学会・日本地震工学会・日本建築学会

土木学会・日本自然災害学会・日本災害情報学会・地理情報システム学会、防災学術連携体

（一部予定を含む）

総合司会：白田 裕一郎*（防災科学技術研究所）

13:00-13:10 開会挨拶 小口 高**（東京大学）

13:10-13:35 阪神淡路大震災の本質的教訓は活かされたか 室崎益輝（兵庫県立大学）

13:35-14:00 阪神・淡路大震災の復興過程に学ぶこと 林 春男*（京都大学名誉教授）

14:00-14:20 兵庫県南部地震の地震学へのインパクト 久家慶子*（京都大学）

14:20-14:40 地震本部の取り組みと活断層地震防災 鈴木康弘*（名古屋大学）

14:40-15:00 阪神淡路大震災から東日本大震災へ 今村文彦*（東北大学）

15:10-15:30 共感に支えられる災害時のラジオ 大牟田智佐子（毎日放送）

15:30-15:50 地震防災と放送～30年の進歩と課題～ 入江さやか（松本大学）

15:50-16:10 ボランティア30年の真価 栗田暢之（レスキューストックヤード）

16:10-16:30 未来を変える災害の記憶をつなぐ仕組みづくり 阪本真由美（兵庫県立大学）

16:30-16:50 大震災から30年後の都市防災の課題と今後の展望 廣井 悠（東京大学）

17:00-17:50 討論 司会：中川和之（時事通信）

17:50-18:00 閉会挨拶 小野 裕一*（東北大学）

*:日本学術会議連携会員

**：日本学術会議会員

内容に関するお問い合わせ：

resilience.nagoya@gmail.com（名古屋大学 鈴木康弘）

Photo by kumayosi / PIXTA